

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | |
|-----------------------------|---------------------|--------------------------|
| ボール名 オーソリティー・ソリッド | 投球者 徳江 和則 | センター 平和島スターボウル |
| RG 2.503 | △RG 0.050 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール |

テストボール：オーソリティー・ソリッド

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番

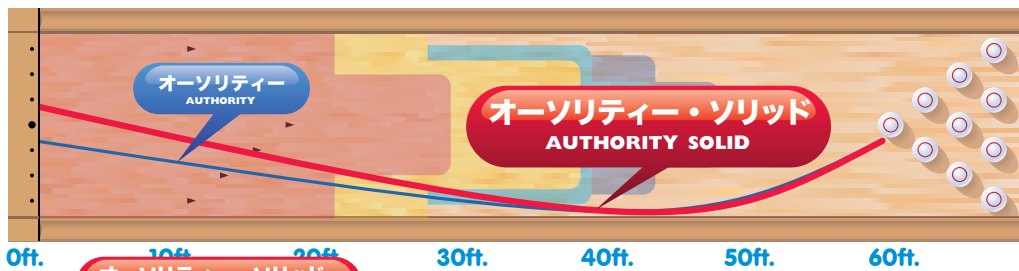
比較対照ボール：オーソリティー

フレアーの幅 インチ

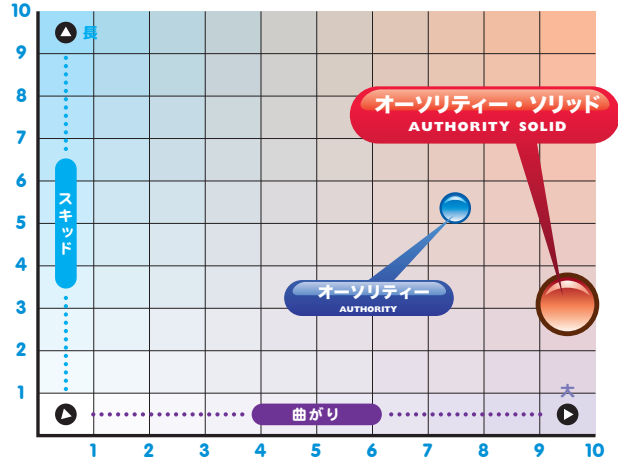
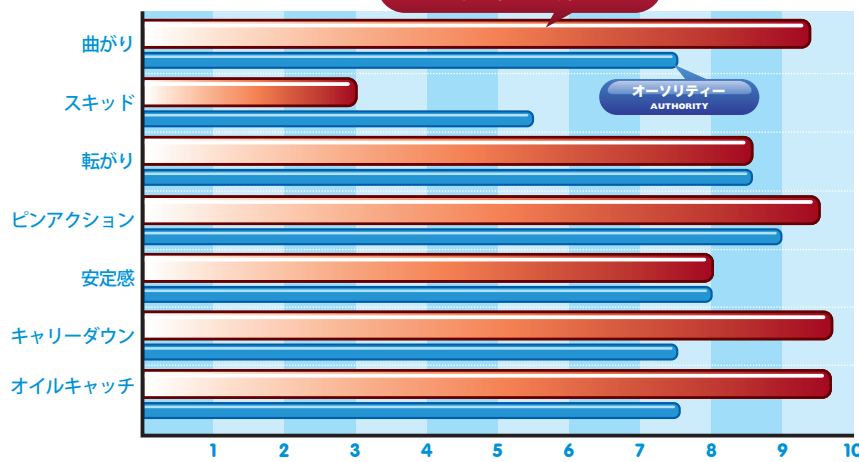
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Pearl素材からSolidへカバーストックを変えただけで、これほどまでに印象が変わったボールは記憶にないぐらいと感じた第一印象。ヘビーオイル用としても、これほどまでにオイルを必要としたのはいつぶりか。ありとあらゆるコンディションに対応するため、一つはスペシャルなボールを持っておきたい。それがこのAuthority Solidです。

ERT 2.0 Solidで500, 1000 Siaair Micro Pad仕上げという、今まで経験のない仕上げで見た目もかなりガサガサ感があります。まず第一におススメしたいのは「スピード過多」なタイプにはかなり武器になります。イヤでもブレーキがかかりますが、でも奥もしっかりと曲がりもです。ただ曲がるだけのボールはありますが、しっかりとブレーキングが強くて奥も曲がり強いボールはそうそう見つかりません。それだけ表面素材と表面加工、コアシステムとのバランスがもの凄く高いレベルで仕上がらないと、こういうパフォーマンスはでることがありません。

前作AuthorityはPearl素材でミディアムからややその上の領域でしたが、Authority Solidは明らかにヘビーオイル用と言えます。逆にオイルが足りないとボールはすぐ左へ向こうとするため、フランチャイズのコンディションでも一番オイルの濃い部分の手前を使わないとボールは曲がると思うと頂いても良いと思います。中途半端なオイル用ではなく、スペシャルだからこそ「ここ一番」の時に使用できると思います。テスト段階で箱出し状態からポリッシュも試しましたが、手前のゴリゴリのキャッチ感は薄くなるものの、それでもオイルに対しての弱さはなく投球できるので、投球後光らせながらパフォーマンス調整も視野にいらしてください。DOT製法とダイナミコアで最先端のテクノロジー。抜群のブレーキ感と奥の動き双方を求めている方は絶対に試してください。

特記事項

対オイル攻略にはかなり有効な出来だと思えます。ガッツリ噛むのでオイルの中を安心して投げる事ができます。スピードが速い方はぜひお使いください。